

小さいロバ

Das Eselein

王さまとお妃には、子どもがありませんでした。神さまは、やっと願いを聞き届けてくれましたが、生まれた子どもは小さなロバでした。王子の小さなロバは自分の姿が情けなく、忠義なおともを連れて旅にでました。旅先の王国でリュートをみごとに弾いて、王さまのお気に入りとなりました。そしてついには、お姫さまと結婚することになりました。その夜、小さなロバが毛皮を脱ぎ捨てると、美しく上品な若者が現れました。王さまは、若者がもとに戻らないように、ロバの毛皮を焼いてしまいました。そして、若者はお姫さまと王国を治めてゆたかに暮らしました。

